



翔鷹

アブダビ日本人学校 学校だより

令和4年度

11月号

R4. 11. 1 発行

編集：教頭

惻隱の情そくいんのじょう

教頭 佐藤 康二

学校教育に「宗教」がないのに、なぜ日本は勤勉で礼儀正しい国民が育つのか？初代国際連盟事務次長新渡戸稲造は諸外国高官からこのような質問を受け、1冊の本を著した。英文で書きアメリカで1899年出版した「武士道」である。Tルーズベルト大統領が絶賛し、多くの外国(欧米)人に愛読され「外国人から見た日本人観」が定着した。日本人は礼儀、勇氣、惻隱、正直、誠実、名誉を重んじると。その後「武士道」は日本にも逆輸入和訳され今や書店でもネットでも手に入る書物となっている。



平敦盛(たいらのあつもり)
1169~84 平清盛の甥で無官
横笛名手の美少年(享年 15 歳)

剣道を嗜み教育に携わる私は、学生時代に興味本位で読んだきり、再読の意欲もわかない書物だ。が、ここアブダビで「現地人を受け入れる世界唯一の日本人学校」に勤め「日本 UAE 国交 50 周年」の年に、本書が指摘した「失われた心-惻隱」について所見を述べたい。

1184年源平須磨の戦。蛮勇を以て鳴らす源氏方坂東武者熊谷次郎直実が平敦盛を討つ場面。「敵に後を見せるものかな。返したまへ。と招ければ返す。おしなべてむずと組んでどうど落ち、とつておさへて首をかかんと兜をおしあけて見れば、年十五六ばかりなるが、薄化粧してかねぐるなり。わが息子齢ほどにて美麗容顔なりければ、いづくに刀を立べしともおぼず。ただ、とくとく首をとれ。とぞのたまひける。よものがれさせ給はじ。人手にかけまいらせんより、同じくは、直実が手にかけまいらせて、後の御孝養をこそ仕り候はめ。」

「敵に背中を見せるは卑怯！」と言われ敦盛は引き返し堂々と組討する。が屈強な直実力でねじ伏せ兜をはぎ取る。初めて見る敦盛は童顔未熟、息子の年ほどの少年だった。直実惻隱の情湧き「貴方を討つ事はできない。逃げなさい。」と言う。しかし敦盛は「正々堂々の戦じゃ！はやく首をとれ！」と叫ぶ。直実が逡巡するうちに背後から源氏援軍近づき「討て討て」とはやす。大勢の武者になぶり殺されるくらいならと直実やむなく敦盛の首をとる。源平合戦最高の武勲を挙げた熊谷次郎直実だが、惻隱に反した行為を恥じ武士を辞し出家。生涯無名の僧として敦盛を悼み敗者平家をなぐさめた。

新渡戸は平家物語「敦盛」を引き合いに惻隱を説明。未熟なもの弱きもの相手に勝負を争うことや、相手(敵)を完膚なきまで打ちのめす行為は日本人の心(惻隱)に反するのだと説いている。そしてこの心(惻隱)は、日本人が失った(忘れ去った)心だとも言及している。

令和の世。新渡戸稲造が生きていたら伝えたい。確かに多くの日本人は「惻隱」の漢字も書けず意味も知らない(エミラティ児童生徒おいておや)。だけど、大人も子どもも日本人もエミラティも「思いやり」や「いたわり」の情厚く、「心やさしい」人たちで一杯ですよ。と。

【 11月 November 】		主な行事(11月授業日数22)
日	曜	
1	火	スポーツ教室
2	水	委員会活動
3	木	フラッグデー
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	中学部修学旅行(エジプト)
8	火	中学部修学旅行
9	水	中学部修学旅行
10	木	中学部修学旅行
11	金	* 中学部旅行代休
12	土	
13	日	
14	月	
15	火	
16	水	砂漠活動(全校行事)
17	木	
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	中学部期末テスト
25	金	中学部期末テスト
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	委員会活動
30	水	ナショナルデーイベント

<小学部修学旅行> 10月4日(火)5日(水)小学部(G5,6)は3年ぶりの修学旅行。シャルジャ方面へ貸し切りバスで行って来ました。学校や教室では得られないことを体感し、学びました。

最初に訪れたパイプ工場では、固い鉄板が少しずつ丸くなっていく様子に驚くとともに、暑い工場内で働く人たちの努力が見られました。「ものづくりが得意な日本と資源をもつUAEのよいところを生かして、働いているのです」という話がとても印象的でした。

シャルジャでは、イスラム文明博物館や自然史博物館を見学。イスラムの歴史の中で活躍した人やその業績を見学しました。その際に、アラビア語の解説をエミラティの子どもたちが日本語に訳し、説明する機会がありました。両者にとって、とても有意義な時間でした。

それぞれの係の活動を責任もって行いました。ホテルでは一緒に食事をしたり、プールに入って遊んだりしました。普段とは違う環境の中で、協力したり、助け合ったりすることができました。



<中学部中間テスト>

10月6日(木)

- ① 英語 ② 社会

7日(金)

- ① 国語 ② 数学 ③ 理科
- 中学部中間テストでした。試験に集中する中学部生徒。写真撮るのも憚られる緊張感が感じられます。



<第2回英語検定1次試験>

10月9日(日)第2回英検が本校を会場に行われました。アブダビでの英検や漢検は日本人会が主催なので、日本人会員ならば誰でも受験ができます。この日は本校児童生徒だけでなく、現地校やインターナショナルスクールに通う児童生徒も含め21名の受験者が参集。英検2級から5級までを目指し筆記試験、リスニング試験に挑んでいました。



構内庭園では G1.2 の児童が、生活科の学習で、きゅうり オクラ かぼちゃ ミニトマト なすの種を蒔き育てています。来月には美味しい野菜達が収穫できるかな。

環境美化委員会が育てたペチュニア↓きれいに咲きました。

